

せつめい文を読むこと

名前

学習日

ポイント

○せつめい文の内ようを正しく読み取りましょう。

問題

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

春になると、植物や動物のようすは、寒いころとくらべてかわってきます。気温が高くなると、動物や植物の活動がさかんになってくるのです。

けんじくんのクラスでは、公園に出かけて、植物や動物のようすをかんさつすることになりました。

公園では、冬にはさいていなかったサクラ（ソメイヨシノ）の花がさいていました。

けんじくんが公園に出かけたとき、サクラの花は満開でした。

日本は南北に長い形をしているので、けんじくんのいる東京のさくらは満開でしたが、東京より北にある青森や、北海道ではまださいていません。

南の地方から北の地方へじゅんじゅんにサクラがさく予想日をむすんだ線のことを、テレビや新聞では「桜前線」とよんでいます。これを見ると、三月の終わりごろの九州地方に始まり、五月ごろには北海道までとどくことがわかります。

このあと、サクラはどうなるのでしょうか。

サクラの花がさいている日数は、サクラの品種やサクラが植えられている土地（気温や日当たり）などによってかわってきますが、ソメイヨシノ、ヤマザクラ、シダレザクラで五〜七日間ほど、開花時期の早いカンヒザクラやカンザクラなどで十〜十二日間ほどです。雨や風によって花がちり始め、そのあとで葉がしげってきます。

(1) サクラの花は、どの地方からさき始めますか。次からふさわしいものを一つえらび、記号で答えなさい。

ア 北の地方から先にさき始める。

イ 南の地方から先にさき始める。

ウ 北の地方からさき始める年もあれば南の地方からさき始める年もある。

(2) サクラの花は、満開になったあとどうなると書かれていますか。次からふさわしいものを一つえらび、記号で答えなさい。

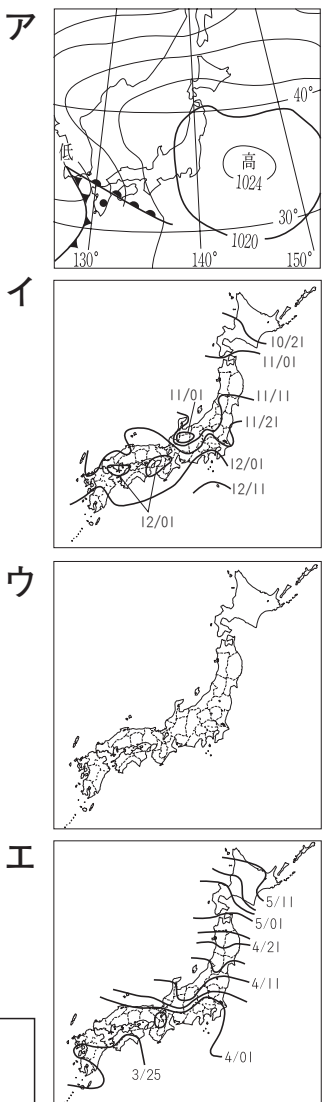
ア 雨や風によって花がちり始め、葉がしげってくる。

イ 雨や風によって花がちり始め、同時にしげっていた葉も落ちる。

ウ 一か月くらいかけて花がちり、このあと葉がしげってくる。

エ 一か月くらいかけて花がちり、同時にしげっていた葉も落ちる。

(3) ぼう線部「桜前線」を表した図としてふさわしいものを、次から一つえらび、記号で答えなさい。



(4) サクラの花がさいている日数は何によってかわりますか。次の文のよ
うにまとめたとき、①・②に入るふさわしいことばを、本文中
からそれぞれ二字で書きぬいて答えなさい。

へサクラの花がさいている日数は、サクラの①や、植えられている
土地の②や日当たりなどでかわる。

①

②

せつめい文を読むこと

問題

かい答	
<div>◆</div> <div>(1) イ (2) ア (3) エ (4) ① 品種 ② 気温</div>	
アドバイス	
<div>◆</div> <div>(1) 「南の地方から北の地方へじゅんじゅんにサクラがさく」とあることに着目しましょう。 (3) 「南の地方から北の地方へじゅんじゅんにサクラがさく」のだんらくを注意して読みましょう。四つの日本地図のうち、予想日をおすんだ線が入っているものはイとエです。そのうち、「九州地方に始まり、五月ごろには北海道までとどく」というせつめいと合っているものはエだということがわかります。 (4) 本文中の「サクラの花がさいている日数は」という文に注目しましょう。</div>	